

フェナリモール水和剤 ルビゲン水和剤	取扱メーカー： 日産、琉産 原体メーカー： マルガリータ
成分： フェナリモール〔エルゴステロール生合成阻害剤 PRTR・2種〕…12.0%	性状： 類白色水和性粉末45 μ m以下 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 病原糸状菌の細胞膜構成成分であるエルゴステロールの生合成を強く阻害することにより菌の生育を阻止し殺菌作用を発揮する。
- 病原菌胞子の発芽はほとんど阻止しないが、菌糸の侵入を強く阻害する（予防効果）。また、すでに侵入した菌糸の伸長や増殖、病斑の形成や拡大をも阻止する（治療効果）。さらに、病斑上での胞子形成を阻止し、その後の感染を防止する。
- 浸透移行性に優れ、降雨による影響を受けにくく、まきムラによる発病や葉裏面での発病も防ぐ。
- 他剤耐性菌に対しても優れた効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

〈りんご〉

- 黒星病に対しては開花直前～落花直後に散布する。赤星病、うどんこ病の同時防除ができる。

〈なし〉

- 黒星病に対してりんぼう脱落期から落花20日後に散布。特に開花直前・落花直後の散布が有効。赤星病の同時防除ができる。

〈かき〉

- 新葉展開期～幼果期、8月下旬～9月に散布する。

〈おうとう〉

- 花腐れと果実発病を防ぐため、開花前～落花期と果実肥大期に散布する。

〈野菜類他〉

- 発病初期～盛期に散布する。治療効果が高いので発生直後の散布が有効である。

【薬効・薬害等の注意】

- うどんこ病防除に使用する場合は作物の種類により希釈倍数が大幅に異なるので十分注意する。
- かきに使用する場合、8月以降の有機リン剤、カルタップ水溶剤との混用はさける。

【安全対策上の注意】



【適用と使用方法】

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びフェナリモルを 含む農業の総使用回数	使用方法	
な し	うどんこ病	3000倍	200 ～ 700 ℓ	30 日前まで	3 回以内	散布	
	黒星病 赤星病	3000 ～ 4000倍					
り ん ご	黒星病 うどんこ病 赤星病			3000倍			21 日前まで 3 日前まで
	か き	うどんこ病					
お う と う	灰星病	4000倍	100 ～ 300 ℓ	前日まで	4 回以内		
い ち ご	うどんこ病	10000倍			3 回以内		
メ ロ ン							
ピーマン							
し し と う きゅうり	すすかび病	6000倍		3 日前まで	4 回以内		
な す	うどんこ病	10000 ～ 15000倍			—		2 回以内
す い か かぼちゃ				3000倍			
た ば こ							100 ～ 180 ℓ
ば ら				100 ～ 300 ℓ			